

2019年1月17日

課題名：Rapid Response Team (RRT) 看護師がおこなっている Rapid Response System (RRS) に関する教育的介入後の変化

◆研究の目的と概要◆

Rapid Response Team (以下：RRT) 看護師がおこなっている Rapid Response System (以下：RRS) に関する教育的介入後の変化を調査することで、教育的介入の効果을明らかにすることを目的としています。

RRS とは、入院患者に発生する予期せぬ死亡、予期せぬ心停止、および ICU 予定外入室などの重篤有害事象 (severe adverse events) を減少させることを目的とした医療安全管理システムのことです。医師や看護師から RRT が要請されれば、集中治療に精通している医療チームが一般病棟入室患者の処置や評価などを迅速に行います。

◆対象となる患者さん◆

2015年10月～2018年10月の間に RRS 起動となったすべての患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

患者さんに関連した項目として、「診療科」「RRS 起動内容」「RRS 要請までのバイタルサイン異常 (以下：バイタルサイン異常) の有無」「バイタルサイン異常から RRS 起動までに要した時間」「バイタルサイン異常があった場合の対処の有無」「呼吸回数測定の有無」「RRS 介入後の転帰」などをカルテ情報から収集させていただきます。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録 (カルテ) 等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
集中治療センター 研究責任者 北別府孝輔
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明